

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	KCCワークス
住 所	神奈川県愛甲郡愛川町春日台3丁目6-38
電話番号	046-280-4855

事業所番号	1411600297
管理者名	平本裕子
対象年度	2024年度

地域連携活動の概要	
＜活動内容＞ 愛川町に隣接している相模原市のユニフォームレンタル会社 株式会社エムズ様との業務提携を新たに結んだことで洗濯代行業務で多くの洗濯物を扱えるようになった。 利用者の業務において洗濯、乾燥、たたみ、梱包の一連の作業に全員が携わることができ、先方のオーダーに応じた納品をしている。	＜活動の様子＞   洗濯物たたみ方で不明な点があった際は指導を受けます。 納品の様子   集荷際の洗濯袋の数チェックを行います 集荷します
＜目的＞ 新しい地域での業務提携を開始し、弊社と取引をするエリアが愛川町以外に拡大している。今後も取引先のエリア拡大を行い仕事量を確保していく。 また、利用者にとって安定した仕事量の確保が担保できるようになり、洗濯や洗濯以外の業務（事務処理）などのバリエーションを増やし個々のスキルアップを目指す。	
＜成果＞ 今まで取り扱ったことがなかった洗濯業務を請け負うこと、安定した仕事量が確保出来たことで利用者の仕事に対するモチベーションが高まった。 また、提携先からたたみ方や洗濯方法についてのクレームを受けたこともありお客様に対してオーダー通りに納品すること、自分たちの仕事が直接クレームにつながってしまうという意識を利用者自身が自覚することができた。	

連携先の企業等の意見または評価			
【評価点】 - たたみ方や仕上がり方について、気になる点を指摘したところすぐに改善することができおり、納品後の修正が減った。 - 納品日、納品時間など期日も守られており、徐々に物量も増やしていきたいと検討している 【課題】 - 素材によってしわになりやすいものがある。極力しわがつかないように工程の中で工夫してほしい。 - 昨年の年末年始は御社が休業で洗濯の物量調整が必要だった為、今年の年末年始は調整をお願いしたい。			
連携先企業名	株式会社エムズ	担当者名	田中要次様

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	KCCワークス	事業所番号	1411600297
住 所	神奈川県愛甲郡愛川町春日台3丁目6-38	管理者名	平本裕子
電話番号	046-280-4855	対象年度	2024年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> コインランドリー事業では清掃作業、接客を実施している。 お客様からコインランドリーの使用方法、洗濯についての相談、両替等 接客については様々な問い合わせがある。新人職員には基本的な操作、 新しく入職した利用者には接客マナー等の説明、ロールプレイング研修を行っている。 また、在籍している利用者同士が練習することで互いにスキルアップを目指している。	<活動の様子>  多種多様なマシンがある為、洗剤、洗濯コース、マシンの使用方法などの説明が必要です。 お客様にスムーズにお使いいただけるよう繰り返し練習し、接客に慣れるようにしています。
<目的> コインランドリー事業、洗濯代行事業は直接お客様の接客が必要になる。 自分ができる範囲での接客を確実にし、お客様に安心して利用いただける店舗運営をしていく。 利用者にとっても、接客を通し対人関係スキルを学ぶチャンスにつなげる。	
<成果> 入職後、接客のロールプレイングを繰り返すことで、いざお客様の対応をする際に、落ち着いて対応できる利用者が増えた。わからないことがあっても、対処方法を学ぶこと（例：困ったら、分かる者に変更してよい、メモを見てもよい等）で次につなげられている。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

・お客様から洗濯の知識を求められるため、コインランドリーの使用方法など説明できるスキルが必要なる。 ・ロールプレイングで実践につながるように積極的に練習をしてほしい。 ・実践練習をすることで、接客に苦手意識がある方は徐々に慣れ個人のスキルアップにつながっている。	
連携先企業（担当者）	

利用者からの意見・評価

・接客は苦手だったが、練習を繰り返すことで自分が出来る範囲の接客ができ自身が持てるようになった。 ・基本的な機械の操作や洗濯の知識を学ぶことで、自分自身の知識にも繋がった。接客は電話対応やレジ対応もあるので積極的に取り組みたい。
--

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	KCCワークス
住 所	神奈川県愛甲郡愛川町春日台3丁目6-38
電話番号	046-280-4855

事業所番号	1411600297
管理者名	平本裕子
対象年度	2024年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		40 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(Ⅱ) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		40 点
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

（Ⅲ）多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		5 点
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
小計（注1）	3	点

（※）8項目の合計点に応じた点数

（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅳ）支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		5 点
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	3	点
（※）8項目の合計点に応じた点数（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

（Ⅴ）地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

（Ⅵ）経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点
期限内に提出していない場合：-50点		

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数						
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点	
多様な働き方	0点	5点	15点				
支援力向上	0点	5点	15点				
地域連携活動	0点	10点					
経営改善計画	0点	-50点					
利用者の知識・能力向上	0点	10点					

合計

110

点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

（Ⅰ）労働時間

前年度（令和6年度）

雇用契約を締結していた全ての
利用者における延べ労働時間

5,427

時間

雇用契約を締結していた延
べ利用者数

1,213

人

利用者の1日の平
均労働時間数

4

時間

（Ⅱ）生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費
を除いた額

2,961,719

円

利用者に支払った資金
総額

5,504,901

円

収支

▲ 2,543,182

円

前々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費
を除いた額

1,039,768

円

利用者に支払った資金
総額

6,101,514

円

収支

▲ 5,061,746

円

前年度（R6年度）

生産活動収入から経費
を除いた額

7,266,908

円

利用者に支払った資金
総額

6,063,432

円

収支

1,203,476

円

（Ⅲ）多様な働き方

前年度（R6年度）における取組（全体表「（Ⅲ）多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検動奨
に関する制度を定めている☒

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を
定めている☒

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律
に関する制度を定めている☐

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を
定めている☐

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を
定めている☐

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を
定めている☐

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度
を定めている☒

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を
定めている☒

（Ⅳ）支援力向上

前年度（R6年度）における取組（全体表「（Ⅳ）支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している

☒

◎外部研修、もしくは内部研修を

1回以上実施している。

☒

※研修名 虐待防止研修

研修講師 野澤和弘

実施日・受講者数 10月17日 3人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において
1回以上発表している☐

※研修、学会等名

実施日 月 日

※学会誌等名

掲載日 月 日

発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業所の視察・実習の実施している

もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている

☒

※先進的事業者名

実施日/参加者数 月 日 人

※他の事業所名 厚生労働省 職員実習

実施日/参加者数 7月1日 2人

8月26日 2人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上
参加している。☐

※商談会等名

主催者名

日時 月 日

内容

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している

☒

◎当該人事評価制度を周知している

☒

人事評価制度の制定日 R6年7月1日

人事評価制度の対象職員数 3名

うち昇給・昇格を行った者 3名

当該人事評価制度の周知方法

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している

☐

◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」

を受講している

☐

※配置期間 月 日～ 月 日

就業時間

職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に

福祉サービス第三者評価を受けている

☐

※評価を受けた日 月 日

第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント

規格等の認証等を受けている

☐

※認証を受けた日 月 日

規格等の内容

（Ⅵ）経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、
経営改善計画書へ提出した。☒

※受理日 R6年7月30日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。